

Hello! FUJISEI

No. 305

今年は広範囲で気温が高くなり、例年よりも早く真夏日となったところも多くなっています。

「熱中症」は、高温多湿な環境に長くいることで、徐々に体内の水分や塩分のバランスが崩れ、体温調節機能がうまく働かなくなり、体内に熱がこもった状態を指します。屋外だけでなく室内でも発症し、救急搬送されたり、場合によっては死亡することもあります。

◎熱中症の症状

- ・めまい、立ちくらみ、手足のしびれ、筋肉のこむら返り、気分が悪い
 - ・頭痛、吐き気、嘔吐、倦怠感、虚脱感、いつもと様子が違う
- 〈重症になると…〉
- ・返事がおかしい、意識消失、けいれん、からだ熱い

熱中症による死者数は猛暑だった平成22年の後も、毎年500～1000人前後で高止まりの状態にあります。

消防庁の調査では、熱中症により毎年約4万人以上の方が救急搬送されています。救急搬送者増加の要因として、気温や湿度の上昇が関係してい

熱中症に注意しましょう

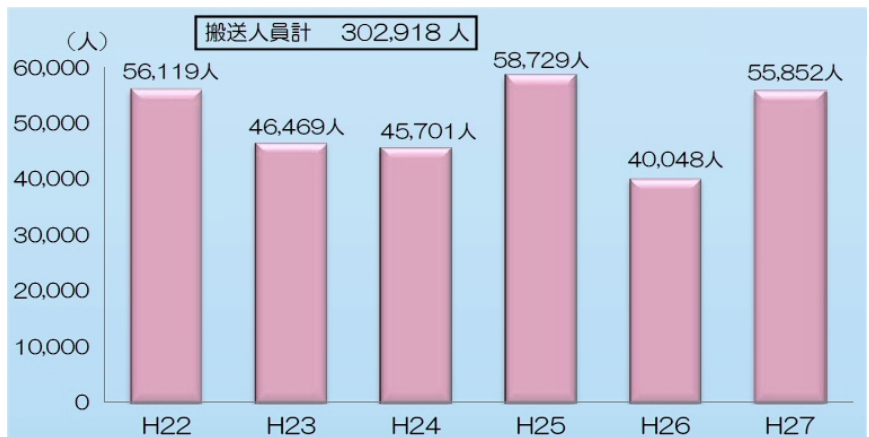
夏季の救急搬送者の5割近くが高齢者

ることが分かっています。特に、梅雨明け前後の暑さには、最も注意が必要です。

夏期の救急搬送者（平成22年～27年合計）は、高齢者が46.8%と5割

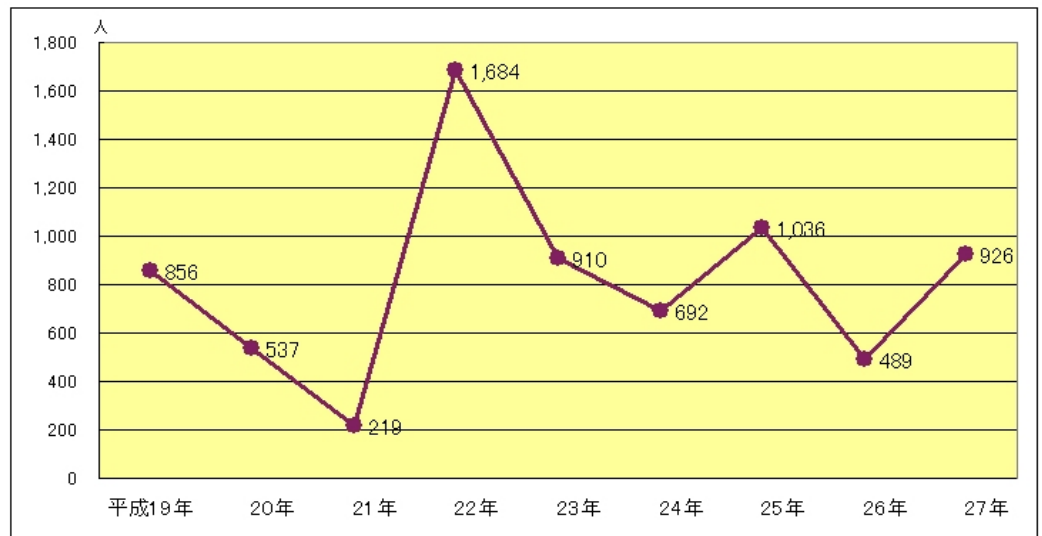
近くを占め、また、乳幼児と少年を合わせると1割以上となっています。そして、搬送者の4割近くが入院しています。こまめに水分・塩分、経口補水液などを補給しましょう。

熱中症による救急搬送者数（平成22年～平成27年）



消防庁「熱中症リーフレット」より（※H22～26は6～9月、H27は5～9月に実施）

6～9月の熱中症による死亡者数の推移



厚生労働省：人口動態統計月報（概数）（平成27年9月分） ※平成27年は概数。

AIG富士生命保険株式会社

〒105-8633 東京都港区虎ノ門4-3-20
神谷町MTビル